

ひととの
つながり
を大切に

「ひと・つな」だより



～三重県に生まれ育つすべての子どもに途切れのない支援を～

子ども心身発達医療センターは、途切れのない支援システムの構築を推進しています。

三重県に生まれ育つすべての子どもの発達保障・子育て支援をめざし、子ども心身発達医療センターは多くの市町と共働しながら、以下の取り組みを進めています。

- ①発達総合支援室（保健・福祉・教育の一元化室）・機能の設置
- ②「CLM（チェック・リスト・in 三重）と個別の指導計画」による保育所・幼稚園での早期発見・支援

*「CLMと個別の指導計画」は、子どもの育ちを見極め、適切な支援を行うためのツールです。

- ③みえ発達障がい支援システムアドバイザー、CLM コーチの育成支援

すべての子どもが豊かに育つことができる三重をめざして ～切れ目ない支援を子ども達に～

皆様におかれましては、本県の子ども・福祉施策の推進にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、三重県では「途切れのない支援システム」について、発達に課題のある子どもを適切な支援に繋げるための地域における支援体制の基本とし、国に先んじて取り組んでまいりました。また、地域の基幹病院と連携した医療連携体制づくりの取り組みも始まるなど、地域においては医療を含めた地域支援ネットワークが進みつつあります。

特に未就学児の発達に課題のある子どもの支援については、市町の発達総合支援窓口での保護者支援や、保育所・幼稚園など普段生活をする場において、適切な支援が継続的に受けられることが、子どもの健やかな成長と保護者の安心につながります。そのためには、保健・福祉・教育が連携した市町における総合窓口の役割はとても重要です。また、必要な方には「CLM（チェック・リスト・in 三重）と個別の指導計画」を実施していただくことで、気になる子どもだけでなく、クラス全体も安定し、小学校への移行もスムーズにいくと考えられます。

市町では親支援、「CLMと個別の指導計画」を使った園での対応など、多岐にわたる課題に対応できる人材の育成が必要です。センターでは、これまで市町の貴重な人材をお預かりして「みえ発達障がい支援システムアドバイザー」「CLM コーチ」の育成研修を行ってきました。そうした皆さんがセンターと連携・協力し、地域で暮らす子どもや保護者を支えていただくことを期待しています。

県では、今後も市町の皆様をはじめ関係機関の皆様方と連携しながら、すべての子どもが豊かに育つことができる三重をめざし、取り組みを進めてまいります。今後とも引き続きご理解とご協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。

令和6年9月

三重県子ども・福祉部 部長 枡屋 典子



センターと市町連携

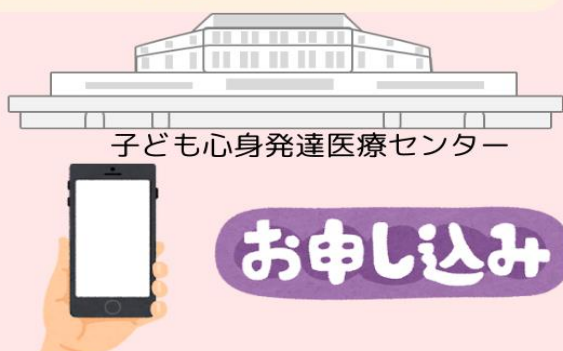
子ども心身発達医療センターでは市町と連携し、気になる子を早期から身近な市町で支援できる仕組みづくりを進めています。どの子にとっても、普段過ごす園や家庭が一番の成長の場です。毎日その子に合った支援を行い、良い行動を習慣化することが重要です。

そこで、子ども心身発達医療センターでは、みえ発達障がい支援システムアドバイザー・CLM コーチ（以下アドバイザー等）研修を実施し、園に対しては「CLM と個別の指導計画」による保育支援、保護者に対しては適切な相談と育児支援ができる人材を育成しています。アドバイザー等が支援に困ったときには子ども心身発達医療センターにケース相談ができ、その結果をすぐに園や保護者にフィードバックしながら発達支援を進めることができます。

申込から受診・連携の流れ（未就学児）

- ① 保護者からの初診申込時に、アドバイザー等在籍市町とセンターでの連携希望を確認する
- ② センターから市町のアドバイザー等に申込内容を伝える
- ③ 市町のアドバイザー等が、受診決定の有無にかかわらず園支援（CLM 等を実施）・保護者支援を申込時点から進めるよう伝える
- ④ 市町のアドバイザー等からの支援内容をもとに診察前に医療連携課内で整理し、その内容を医師に伝える
- ⑤ 診察後、市町のアドバイザー等に、より良い支援をしてもらえるよう助言する。

①初診申込み時に「市町連携希望」する



②⑤市町のアドバイザー等と共有



③地域での早期支援



④センター内で話し合い、医師と共有



医師より

普段から関わっているアドバイザー等から見た客観的な子どもの様子、現在の支援内容、小さい頃の様子がわかるのは非常に助かっています。受診前から支援してもらっていることも大きいです。診察のときに参考になるので継続した連携をお願いします。

クラスみんなで育ち合うCLM

表現する力や仲間意識を育む

サイコロトークあそび

担任の願い

友だちと一緒に活動できる
ようになってほしい



Aくんもクラスみんなも

成長できるあそびに取り組みたい

名前: Aくん (4歳児)		要因	
チェック項目 (3)先生の指示を聞いて行動できない エピソード へびじゃんけんの時、友だちがゲームしていても見ず、自分の番になっても、声をかけられるまで砂あそびをしている		①友だちへの関心が薄い ②やる気スイッチが入らない	
目標 サイコロトークあそびの時、友だちの名前を呼んで、ゲームを進めることができる			
期間	具体的な指導方法		結果・評価
O/O (O) ~ O/O (O) O回	<クラス環境の整えとクラス全体の支援>	<個別の支援>	月日 O× 特記事項
	<p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊び方表を掲示する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><サイコロトークあそびの遊び方></p> <p>①グループリーダーは、友だちの名前を呼んで、サイコロを渡す</p> <p>②友だちがサイコロのことをしたら、みんなで拍手をする</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> サイコロを5~6種類置いておく(好きなもの、ポーズ、言葉あつまめ、数叩き、表情等) <p>【サイコロトークあそび】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4~5人×5グループに分ける グループリーダーを5人決めておく 見本を見せて遊び方を伝える グループごとに進めるよう伝える 全てのグループが1つ目のサイコロが終わったら、2つ目のサイコロを取りに来るようにグループリーダーに伝える 2~3種類のサイコロに取り組む グループで遊べたことをほめる 	<ul style="list-style-type: none"> グループリーダーに任命する はじめの3日間は傍について、グループリーダーのやり方を伝える 「OOがかっこよかったよ」と具体的によい姿をほめる 	<p>幼児期の終わりまでに育ててほしい</p> <p>10の姿 (関係項目のみ抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自立心 協同性 道徳性・規範意識の芽生え 思考力の芽生え 数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現 <p>クラスの子どもたちの発達に合わせて、サイコロの種類や内容を工夫するといいですね</p> <p><例></p> <ul style="list-style-type: none"> 好きなもの(食べ物、あそび) ポーズ(うさぎ、カエル、ソウ) 言葉あつまめ(「あ」のつく言葉) 数叩き(●●、●●●) 表情(怒った顔、悲しい顔) 色(赤→りんご) などなど

Q&A コーナー

Q 1, 「CLM と個別の指導計画」 って何？

A CLM (チェック・リスト・in 三重) は三重県立子ども心身発達医療センターが開発したチェックリストと支援方法です。子どもの気になる行動に対してよい行動を習慣化し、子どもの自己肯定感の回復や向上を図ります。保育所・幼稚園・家庭でも活用できます。市町のアドバイザーやCLM コーチはこの手法を使って支援します。

Q2, 「みえ発達障がい支援システムアドバイザー」 ってどんなことをする人ですか・・・？

A 「ことばが出ない」「ご飯やお風呂の時間になってもゲームをやめない」「園や学校でトラブルばかり」「学校に行きたくないと言っている」など、毎日の生活や子育ての悩みについて、話を聞かせてもらい、どうすると良いかを具体的に一緒に考え、子育ての伴走者となることができます。

話をうかがったうえで、実際に保育所・幼稚園、学校に出向き、お子さんの様子を見せていただき、園や学校の先生方とお子さんが困っている点について一緒に検討し、協力して支援を進めます。

子どもや保護者のあらゆる相談に応じることができる人たちのことです。

あなたの市町の子どもに関する仕事を担当する部署 (子育て支援課・発達支援課等) にいます！ (不在の市町もあります)

Q 3, 「CLM コーチ」 ってどんなことをする人ですか・・・？

A 「CLM」 を使って子どもの支援を考えてくれる専門家です。県内市町の子どもに関する部署や保育現場で活動中です！

「クラスが落ち着かない」「トラブルをよく起こす」といった園での困りごとに対しては、担任のための支援のシナリオを作成し支援方法をお伝えしています。

<令和6年度の予定>

11月30日 (土)	「CLM と個別の指導計画」 実践報告会
12月21日 (土)	ミニ学会 対象：みえ発達障がい支援システムアドバイザー

令和6年 (2024年) 9月11日

<発行> 三重県立子ども心身発達医療センター 発達総合支援部 医療連携課
〒514-0125 三重県津市大里窪田町 340 番 5 電話番号 059-253-2000 (代)

MAIL : hattatsuc@pref.mie.lg.jp URL : <http://www.pref.mie.lg.jp/CHILDC/>